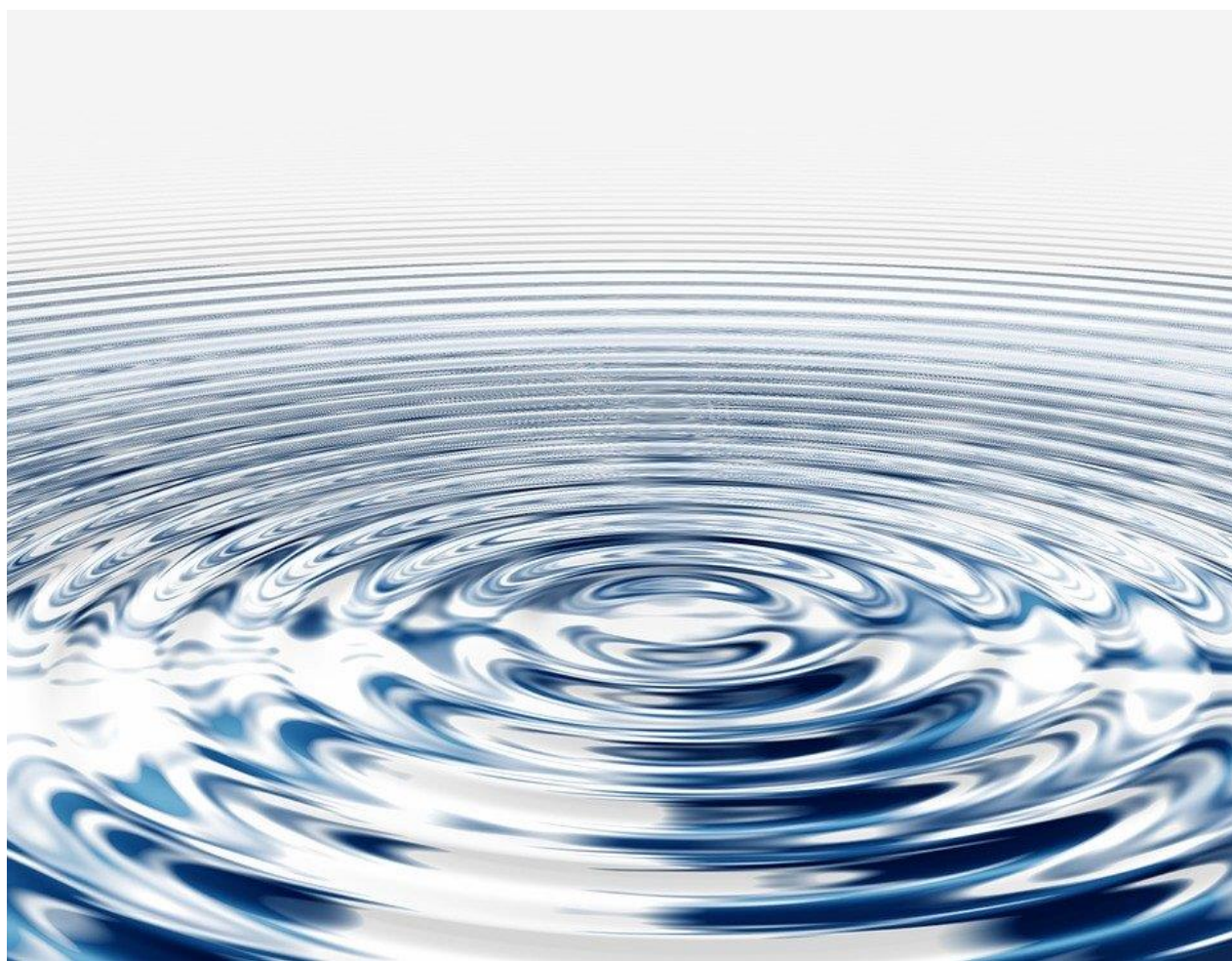


エコアクション21

環境経営レポート



対象期間:2023年4月1日～2024年3月31日

作成日:2024年7月15日



市川建設株式会社



目 次

1, 組織の概要	-----	P1	
		P2	
2, 環境経営方針	-----	P3	
課題とチャンス	-----	P4	
3, 環境経営活動実施体制	-----	P5	
4, 環境経営目標	-----	P6	
5, 環境経営活動計画	-----	P7	
6, 環境経営目標の実績	-----	P8	
	写真	P9	P10
	その他の環境への取り組み事例	P11	
7, 環境経営計画の取組結果とその評価	-----	P12	
8, 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価	-----	P13	
9, 代表者による全体の評価と見直し	-----	P-14	





1. 組織の概要

●事業所名及び代表者

市川建設株式会社

代表取締役 市川 興助

●所在地

本 社 長野県須坂市大字福島91番地

第1資材置場 長野県須坂市大字幸高206-1



●環境保全の責任者及び担当者

環境管理責任者

市川 太

EA21事務局（担当者）

市川 渡

連絡先

E-mail: info@ichikawa-kk.com

電話：026-245-3214

●許可事業内容

土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、

舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

解体工事、産業廃棄物収集運搬業

●事業規模

創立年
資本金

1950年1月
2,000万円

法人創立年月日

【創業75年】

売上高

80,228万円

(2023年4月1日～2024年3月31日)

従業員数

18名

床面積

本社 89㎡

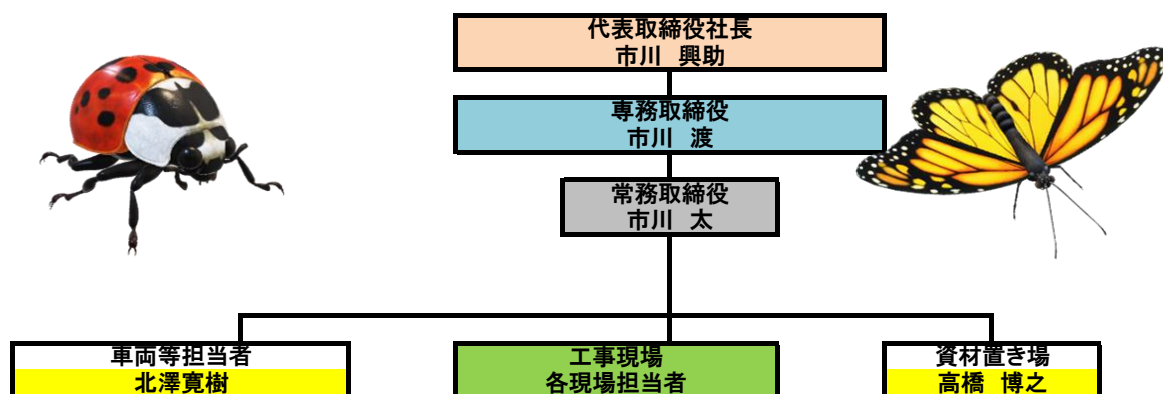
●対象範囲（認証・登録範囲）

・建設業（土木工事業、とび、土工工事業、解体事業）
産業廃棄物収集運搬業

全組織・全活動



組織図



● 施設等の状況

運搬車輛の種類

1. 大型ダンプ 3台	10000kg	7. 三菱キャンター デュトロ	3000kg
2. ヒノ4tダンプ	4000kg	8. 大型ユニック	7000kg
3. ヒノ レンジャー	3950kg	9. 大型ユニック	9000kg
4. ヒノ 【アームロール】	3900kg	10. ローリー【Wキャブ】	1500kg
5. いすゞ エルフ	3000kg	11. Kバ3台	350kg
6. 三菱キャンター【Wキャブ】	1900kg	12. Kトラック5台	350kg
		13. ハイエース2台	1000kg

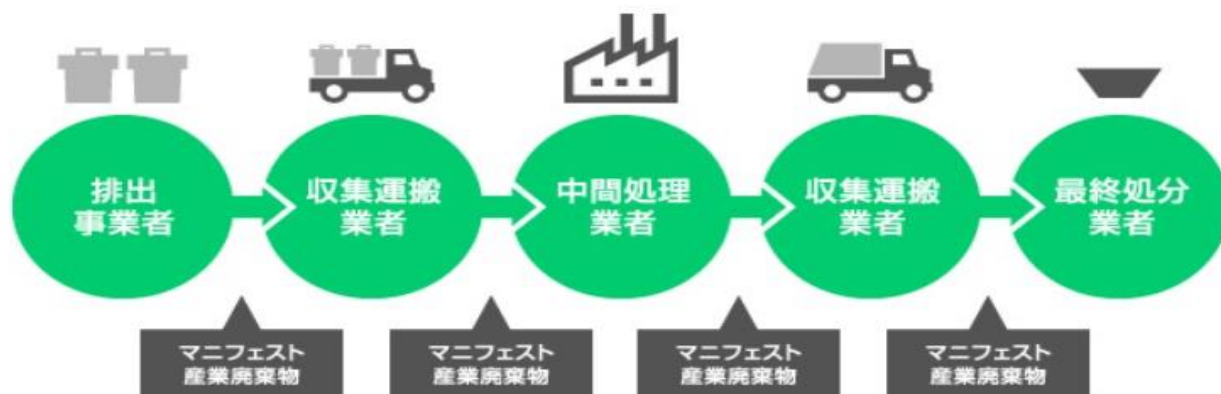
● 産業廃棄物収集運搬業許可番号 2006152079

許可年月日 2019/11/18

許可の有効期限年月日 2024/11/17

- 事業の範囲
- 収集運搬業(積み替え保管を除く)産業廃棄物
- ・廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)
 - 紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び
 - 陶磁器くず (石綿含有産業廃棄物を含む)
 - ・がれき類 (石綿含有産業廃棄物を含む)
 - (廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、及び
 - 陶磁器くずは自動車等破損物を除く)
 - 以上いずれも特別管理産業廃棄物を除く。

● 受託した産業廃棄物収集運搬量 3.00t



廃棄物処理の流れ

2, 環 境 経 営 方 針

エコアクション21



基本理念

市川建設株式会社は、道路・河川工事などの事業活動を通して全社員が資源の有効活用と環境負荷の軽減に努めます。また、地域に信頼される環境経営の継続的改善を実施します。

基本方針

- 1 環境に関する法規等を厳守する。
- 2 燃料等の低減。
- 3 電気の節電に努める。
- 4 水道水の節水に努める。
- 5 廃棄物の分別等を行い、廃棄物を削減するとともに、リサイクル製品を有効利用する。
- 6 工事現場及び周辺的环境にできるだけ影響の少ない施工方法・対策を実施する。
- 7 環境保全活動を実施、又は協力・支援を行う。



制定日 2017/4/1

改定日 2023/4/1

市川建設株式会社

代表取締役 市川 興助

求事項 2. 代表者による経営における課題とチャンスの明確

(A案かB案どちらかを使って整理する)

エコアクション21

	内部	外部
課題	1・人手不足 2・職員等の技術の継承 3・従業員の高齢化	1・原材料費、燃料費の上昇 2・少子高齢 3・建設廃棄物への社会的関心 4・建築物の環境への関心
チャンス	1・省エネ再生エネルギーの受注、施工体制の整備。 2・設計、工事のICT化推進 3・環境配慮	1・省エネ、再生エネルギーの需要 2・発注者との連携(環境への配慮) 3・現場で発生した建設副産物の再利用 4・設計、工事のICT化



環境に関する	課題	1・人材確保 2・建設廃棄物の分別 3・大型商業施設建設の関係で、土木工事業の現象 4・同業他社との価格競争の激化
	チャンス	1・設計、工事のICT化 2・廃棄物削減するとともに、リサイクル製品を利用する。 3・同業他社との差別化

環境経営方針	1・資源の有効活用と環境負荷の軽減に努めます。 2・地域に信頼される環境経営の継続的改善を実施します。 3・ICT化による設計、工事の効率的運用。
環境経営目標	1・ICTの活用(工期短縮、人材削減) 2・環境配慮型設計提案 3・省エネ、省資源の推進

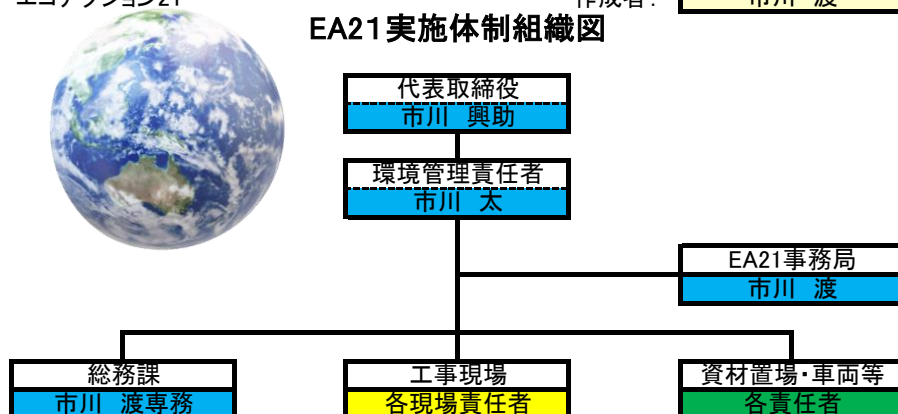


3.環境経営活動実施体制

エコアクション21

作成日： 2023年4月1日
作成者： 市川 渡

EA21実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境方針の下、環境目標の達成に向けて、環境活動計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境方針及び自己チェック等に基づき環境目標を設定し、作成された環境活動計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境目標及び環境活動計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
社員	①エコアクション21の実施
	②環境活動の提案
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境活動計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。

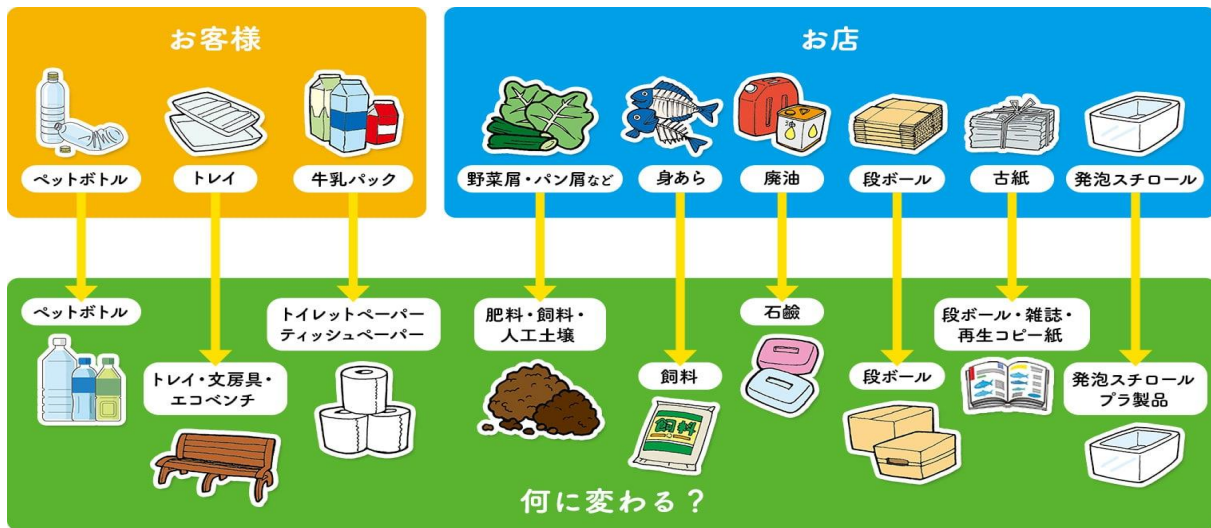
4. 環境経営目標

エコアクション21

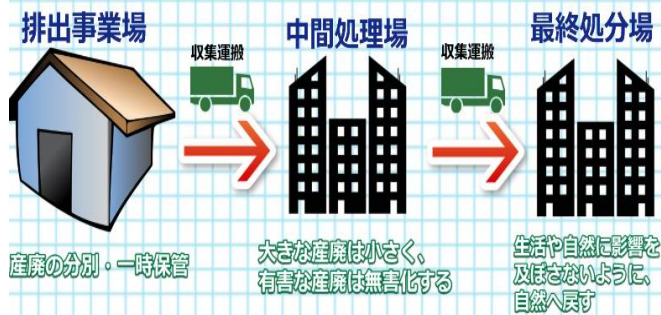
(令和4年～令和8年)

項目	単位	基準値(2021年)	2022年 目標	2023年 目標	2024年 目標	2025年 目標	2026年 目標
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	479,081	474,290	469,499	464,709	459,917
		(%)	100%	99%	98%	97%	96%
	電力	kWh	5,602	5,546	5,490	5,434	48,127
	建設現場の購入電力	kWh	21,644	21,428	21,211	20,995	20,778
	ガソリン	ℓ	10,214	10,112	10,010	9,908	9,805
	軽油	ℓ	170,765	169,057	167,350	165,642	163,393
	灯油	ℓ	630	624	617	611	605
	一般廃棄物	kg	1,020	1,010	1,000	989	979
	産業廃棄物	kg	1,226,701	1,214,434	1,202,167	1,189,900	1,176,763
	水使用量	m ³	25.4	25.4	25.4	25.4	25.4

中部電力㈱ 2022年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.459kg-CO2/kWhを使用



「基本的な産業廃棄物処理の流れ」



5, 環境経営計画

エコアクション21

項 目	環境経営活動計画
二酸化炭素排出量の削減	
(1)購入電力	・節電の励行(電灯の消し忘れ注意) ・空調の温度設定と室温管理(28度)夏(20℃)冬
(2)ガソリン (3)軽油	・建設機械等の使用当たっては、低炭素型を使用するように努める。 ・燃費の良い車を使用するように努める。(エコモード付の車種) ・更新に当たっては、低炭素型建設機械等や燃費の良い車を購入する。 ・効率的な施工計画、運搬計画を策定する。 ・工事現場の規模・状況に応じて、適切な建設機械等や車の使用に務める。 ・ハイブリッド車の使用 ・建設機械等の作業を停止するときは、エンジンを停止する。 ・省エネ運転、アイドリングストップを行う。 ・現場の車の乗り合いの推進 ・建設機械等や車の適切な点検・整備
(4)灯油	・暖房は必要な場所・時間に限定して使用(無理の無いよう)
産業廃棄物量の削減、 廃棄物リサイクル率の増加、 廃棄物リサイクル率継続	・分別の徹底 ・3R(発生抑制・再使用・再生利用)の推進 ・最終処分量の削減(100%再生資源化) ・建設工事における設計図書、発注時の確認により、残余資材の抑制 ・資機材置場・倉庫の整理・整頓、台帳による在庫管理 ・事務用品の在庫把握による購入削減 ・用品を大切に最後まで使用する。 ・印刷物の削減(両面コピー等) ・紙の購入量の計測(kg)コピー用紙削減の為
水使用量の維持	・節水の励行 洗浄機使用(節水) ・洗車、散水などにおける雨水使用
○自ら施工・販売・提供する製品及びサービス ○環境配慮	・できる範囲で、環境に配慮した工作物等の建設に努める。 ・工事現場周辺的生活環境に影響の小さい施工方法・対策の実施 ・自然環境に配慮した施工に努める。 ・必要に応じ、外部へ環境に関する情報の提供
環境保全活動の推進	・環境保全活動に協力・支援を行う。

6・環境経営目標の実績

*環境目標に対する達成状況は以下の通りです。



実績の一覧

【売上高80,228万円】

本社	単位	2021年度基準値	2023年度目標値	2023年度 4月～8月実績値	2023年度実績値	達成率	結果	リサイクル率
(総)二酸化炭素排出量	kg-co2	479,081kg-CO2	469,499kg-co2	95,010.88 kg-co2	649,167.45kg-co2	0.0%	×	
%	%	100%	98%	98%	98%			
電気使用量の削減	KWh	5,602	15,344.84	7,394.0	16,222.0	0.0%	△	ー
建設現場の購入電力の削減	KWh	21,600	21,211	1,499.10	3,548.95	100.0%	○	ー
燃料使用量の削減 (ガソリン)	ℓ	10,214	10,010	2,915.96	9,451.78	100.0%	○	ー
燃料使用量の削減 (軽油)	ℓ	170,765	167,350	32,866.40	132,419.45	100.0%	○	ー
燃料使用量の削減 (灯油)	ℓ	630	617	0	2,379.00	0.0%	×	ー
一般廃棄物	kg	1,020	1,000	420.0	1010.0	99%	○	100%
産業廃棄物	kg	1,226,701	1,202,167	100,628.0	1,781,385.00	0.0%	×	100%
水資源使用量の削減	m3	25.4	25.4	21.0	44.0	0.0%	△	ー

達成率＝目標率÷削減実績値×100(100%)

*1実績値は、2023年度運用期間(4月～3月)の一年間と、基準年度2021年度の同月の値と比較する。

*2総量は4月～3月の一年間の合計とする。

#2023年度電気使用量の目標値を前年度より2%の削減に変えました。

*3購入電力[中部電力]の二酸化炭素係数は0.459 (kg-co2/kwh)

*4軽油の二酸化炭素排出係数は2.58

#置場に水道を引きました。水量がその分増えた。

*5ハイブリット重機・エコ設定のある車両は、継続して行きます。

*6置場に水道、電気等の施設ができ、節水、節電使用量の削減を徹底する。



電気使用量の削減

○良くできた ×出来なかった △余りよくできなかった

計画	結果		評価	次年度
未使用電機、電源off	○	○	徹底してできました。現場の購入電力等気候などで使用量が異なります。	継続
エアコン温度の設定(28度)(20度)	○	○		継続
トイレの便座の温度設定	○	○		継続

計画	結果		評価	次年度
燃料使用量、走行距離チェック	○	○	走行距離チェックは、出来ている。	継続
エコドライブ実施	○	○	余裕をもって現場に向かっていく。	継続
アイドリングストップ	○	○	作業中以外は停止している。	継続

計画	結果		評価	次年度
分別廃棄物の継続	○	○	産業廃棄物は工事内容で廃棄物の量が、増減する。	継続
マニフェストの管理・集計	○	○		継続
100%再資源化	○	○		継続

計画	結果		評価	次年度
資源ごみと一般ごみの分別	○	○	分別はできている	継続
私物のごみの持ち帰り	△	△	微妙	継続

次年度の活動計画

当社は、環境への負荷を低減する為に、以下の活動を実施しています。

(1) 電気使用量の削減
・エアコンの温度設定 28℃前後
・電源off

(4) 廃プラ
・分別
・私物持ち帰り
・混廃の削減

(2) 使用燃料量の削減
・走行距離チェック
・エコドライブ
・ハイブリット化

(5) 水資源使用量
・節水維持
・洗浄機使用

(3) 産業廃棄物の削減
・分別
・マニフェスト管理
・100%再資源化

・毎年度変わりはありませんが継続して活動していきます。

・暑い日、寒い日が多くなりますが頑張ります。





宗一 (ichi.gen44@gmail.com) がサイン



写真一2(竣工)



井上小学校より写生会の依頼を受け置場を開放しました。将来の夢、希望にお役に立てればいいと思います。



★長野県SDGs推進企業登録

2021年10月29日に弊社は『SDGs推進企業登録』をしました。

弊社の基本理念にある「建設業としての事業活動をするにあたり、自主的かつ積極的に自然環境の保護の努めます。」をモットウに、それぞれの役割をはたすことで、SDGsの達成に貢献していきます。

(主な分野に○)	SDGs達成に向けた重点的な取り組み	2030年に向けた目標	重点的な取組及び指標の進捗状況
環境 社会 経済	エコアクション21認証・取得を有効に活用しco2排出量の削減に努めます。	co2 排出量の削減 2023年度649,167.45kg→co2 2030年△9%削減	①エコアクション21・CO2排出量削減・現在維持を目標とする!!
環境 社会 経済	働き改革を着実に実行し、若者、高齢者等のすべての従業員が生き生きと活躍できる職場作りを継続(%は正規社員に対する比率)	2023年2025年2030年 若者社員 10% 10% 10% 雇用年齢 ~65 制限なし	①働き方改革・着実に実行しています・正規社員にたいするひりつは、なかなかきびしい!
環境 社会 経済	従業員の質の高い教育を確保するために資格取得を援助します。	2023年 2025年 2030年 それぞれ希望者	①資格取得・各自取得に努力している!

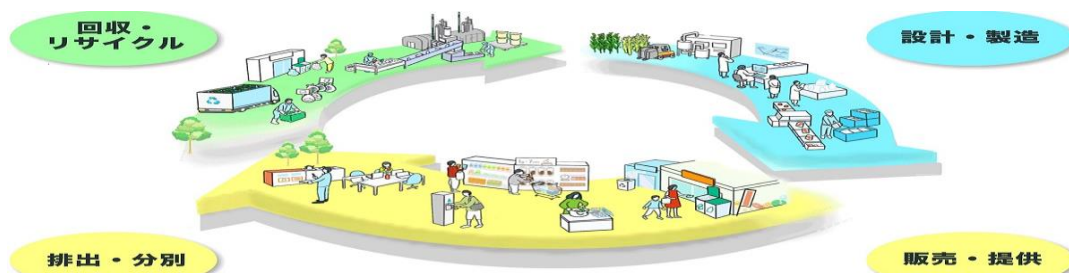
登録期間 2021年10月29日～2024年10月28日

登録番号

1044

登録期間

10期



7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価

エコアクション21

項目	環境経営計画	評価	評価と次年度の環境経営計画	担当責任者	重点項目
二酸化炭素排出量の削減	・2%の削減	×	・3%の削減		
(1)購入電力	・節電の励行(電灯の消し忘れ)	○	周知し概ね取組できた。 引続き取組を継続する。 暑い日寒い日が、続いています が、無理のないよう。	専務	✓
	・空調の温度設定と室温管理・28℃/20℃	○			✓
(2)ガソリン (3)軽油	・建設機械の使用に当たっては、低炭素型を使用するよう努める。	○	周知し概ね取組できた。 引続き取組を継続する。	専務	
	・燃費の良い車を使用するよう努める。	○			✓
	・更新に当たっては、低炭素型建設機械や燃費の良い車を購入する。	○		社長	✓
	・効率的な施工計画、運搬計画を策定する	○			
	・工事現場の規模・状況に応じて、適切な建設機械等や車の使用に努める。	○		現場担当者	✓
	・建設機械等の作業を停止するときは、エンジンを停止する。	○			✓
	・省エネ運転、アイドリングストップを行う。	○			✓
	・現場への車の乗合いの推進	○			✓
	・建設機械等や車の適切な点検・整備	○			
(4)灯油	・暖房は必要な場所・時間に限定し使用する。20℃	○	周知し概ね取組できた。引続き取組を継続する。	専務	✓
廃棄物排出量の削減、 廃棄物リサイクル率の増加、 廃棄物リサイクル率継続	・分別の徹底	○	周知し、概ね取組できた。 施工現場の増工、及び減工等の為、資材を余らせる事があった。今後は、資材倉庫の整理整頓を徹底し、余剰資材の減少に努める。	栗原	✓
	・各自のごみは、持ち帰りする。	△			✓
	・混廃の削減(なるべく分別)	○		現場担当者	✓
	・3R(発生抑制・再使用・再生利用)の推進	○			✓
	・最終処分量の削減	○		高橋	✓
	・建設工事における設計図書、発注時の確認により、残余資材の抑制	○			✓
	・資機材置場・倉庫の整理・整頓、台帳による在庫管理	○		専務	✓
	・事務用品の在庫把握による購入削減	○			✓
	・用品を大切に最後まで使用する。	○		高橋	✓
	・印刷物の削減(両面コピー等)	○			✓
	・紙の購入量のデータを取る	△	周知し概ね取組できた。 今後は雨水の貯水施設を設置する。 引続き取組を継続する。		
水使用量の維持	・節水の励行	○	洗浄機使用等水資源使用量の少ないものを使用する。	高橋	✓
	・洗車、散水などにおける雨水使用				✓
自らが施工・販売・提供する製品及びサービス	・できる範囲で、環境に配慮した工作物等の建設に努める。	○	周知し概ね取組できた。 引続き取組を継続する。	現場担当者	✓
	・工事現場周辺の生活環境に影響の小さい施工方法・対策の実施	○	周知し概ね取組できた。 引続き取組を継続する。	現場担当者	✓
環境配慮	・自然環境に配慮した施工に務める。	○	周知し概ね取組できた。 引続き取組を継続する。	現場担当者	✓
	・必要に応じ、外部への環境に関する情報の提供	○	周知し概ね取組できた。 引続き取組を継続する。	現場担当者	✓
環境保全活動の推進	・環境保全活動に協力・支援を行う。	○	周知し概ね取組できた。 引続き取組を継続する。		





8, 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の業務に適用となる義務規定(一部それ以外を含む。)の主な環境関連法規等とその主な内容、適用対象等は、次の表のとおりです。

また、法規等については最新のものとなるように確認しており、その遵守状況について確認・評価した結果はチェック欄のとおりです。

なお、業務等に関して、行政機関や住民の皆様等から、現在及び過去3年間、ご指摘・苦情・訴訟等はありませんでした。

NO	主な環境関連法規等	主な内容、適用対象等	チェック
1	建設リサイクル法	○対象建設工事受注者として、分別解体等の実施、再資源化等の実施	○
2	大気汚染防止法	○特定粉じん(石綿＝アスベスト)の規制(特定粉じん排出等作業を伴う建設工事)	○
3	建設副産物適正処理推進要綱(平成14年5月 国土交通省)	○建設発生土と建設廃棄物の適正な処理等に係る総合的な対策を適切に実施するための基準	○
4	フロン排出抑制法	○特定解体工事元請業者として、第1種特定製品の有無の確認及び説明(解体工事現場)	○
5	オフロード法	○基準適合表示等が付された特定特殊自動車の使用	○
6	騒音規制法	○指定地域における特定建設作業	○
7	振動規制法	○〃	○
8	排出ガス対策型建設機械指定制度(国土交通省)	○排出ガス基準値を満たした建設機械の使用	○
9-1 9-2 9-3 9-4	○廃棄物処理法 ○廃棄物の適正な処理の確保に関する条例(長野県) ○須坂市廃棄物の処理及び再利用等に関する条例 ○工事現場等当該地域における廃棄物条例(条例の名称ではない。)	○一般廃棄物の処理 ○産業廃棄物の処理	○
10-1 10-2 10-3	○消防法 ○須坂市火災予防条例 【ここでは危険物に限定】	○指定数量未満の危険物(移動タンク、屋外タンク)	○
11	水質汚濁防止法	○貯油施設(移動タンク、屋外タンク)の事故時の措置	○
12	既存建築物におけるアスベスト含有建材の適正撤去・処分に係る手続きについて(実施要領)(長野県)	○既存建築物等におけるアスベスト含有建材の適正撤去・処分に係る手続き	○
13	低騒音型・低振動型建設機械指定制度(国土交通省)	○騒音・振動が相当程度軽減された建設機械の使用	○
14-1 14-2 14-3	○須坂市公害防止条例 ○須坂市を清潔で美しくする条例 ○工事現場等当該地域における環境保全に関する条例等(条例の名称ではない。)	○環境の保全	○

注)チェック欄…○:遵守 ×:不遵守 ✓:該当なし確認 (—:判断なし)



9, 代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21

環境経営目標の達成状況、環境経営活動計画の実施及び運用結果、環境関連法規等の遵守状況、外部からの環境に関する苦情や要望等について確認しました。

昨年度の6月より社長に就任し一年が過ぎ、CO2排出量削減に社員全員で取り組んできました。2%の削減との目標でしたが、生コンクリート養生などで、灯油の量が、大幅に増えたため、維持できなかったのは、非常に残念です。引き続きCO2排出量削減に、努力していきたいと思っています。

SDGs推進企業に登録し、達成に向けた取り組みも始め課題を置いて動き始めたことは、素晴らしいことと評価しています。

暑い日、寒い日が続き、さらに燃料の高騰などで、CO2削減目標達成には、厳しい状況だったと思います。基本方針は、変更ありませんが、高齢化の進行や、恒常的な人手不足をはじめ技術承継の断絶やオペレーターの習熟度による効率、成果のばらつき、現場の安全確保や働き方改革の推進等、土木建設事業者などの経営環境は、ますます厳しさを増していますが、新3kをモットーにこれからも人、組織が成長していくための設備や仕組み作りを導入して行くつもりです。



2024年4月1日

市川建設株式会社

代表取締役 市川 興助

